



## 研究部会報告

### ●政策問題●

#### ●第7回

日時：昭和62年10月31日(土) 14:00~17:00

場所：三菱総研 501 会議室 出席者：11名

テーマと講師：憲法改正のインパクト 中西 佐 (五洋商事)

国家は一種の有機体であり、国の成長・停滞の鍵を握るのは国家の基本法としての憲法である。その憲法も時代によって動脈硬化に陥る、という視点から、明治・昭和両憲法の特徴を分析し、他国依存型から自主防衛の国家責任を明確化することにより、日本の再活性化を図るべきだと提唱、憲法改正問題に一石を投ぜられた。

#### ●第8回

日時：昭和62年11月21日(土) 14:00~17:00

場所：三菱総研 501 会議室 出席者：13名

テーマと講師：AHP 末内 潔 (中部大学)

トーマス・サーティの提唱したAHPは学会内でも関連部会の設定に至るなど大方の注目を浴びている。本部会としても政策決定に至るまでの興味ある手法の1つとして氏のお話を伺った。

#### ●第9回

日時：昭和62年12月19日(土) 14:00~17:00

場所：三菱総研 501 会議室 出席者：10名

テーマと講師：情報のセキュリティ 細貝康夫 (東京計算サービス)

氏の最も得意分野である暗号について、ビジネス暗号システム論を中心に、情報化社会においてますます重要性を増している暗号システムの役割や仕組み、その課題などを体系的に説明され、情報社会におけるセキュリティ確保にからんで暗号がきわめて重要な役割を果たすことを指摘された。

#### ●第10回

日時：昭和63年1月23日(土) 14:00~17:00

場所：三菱総研 501 会議室 出席者：15名

テーマと講師：日本の金融情勢 岩本光永 (コスモ証券)

近年の金融情勢の変化を「自由化・Globalization・証券化・情報化」の4つの変化ととらえ、その変化の実情を紹介された。勘定系は合理化の限界に達しているこ

と、今後国際化(24時間)業務およびトレーディング機能が拡大するだろうこと、客の層別管理の進み具合の激しさ、リスク管理システムのおくれなどの指摘や、AIとコンピュータの相性の考え方など幅広く説明が行なわれた。

#### ●第11回

日時：昭和63年2月20日(土) 14:00~17:00

場所：三菱総研 501 会議室 出席者：13名

テーマと講師：新製品・新事業開発のための情報管理および日米関係の将来その他 石川 昭 (青山学院大学)

情報化時代をむかえて、日米間を結ぶ電話・静止画・パソコン通信による同時国際会議に参画された話、衛星通信による修士レベルの企業者教育、米ソ大学間で同じ教授細目による多元討論など、意思疎通の世界的試みが熱心に語られた。また、楽観・悲観・最尤の将来シナリオ等が紹介され、別会場でも甲論乙駁の盛況だった。

#### ●第12回

日時：昭和63年3月26日(土) 14:00~17:00

場所：三菱総研 501 会議室 出席者：11名

テーマと講師：

1) 認識ギャップにより生起する日米危機

斎藤 昂 (防衛庁)

2) 現象学をめぐって 佐野忠男 (三菱総研)

第1テーマは、*Foreign Affair* 誌 最新版掲載の George Packard の記事が紹介されたが、盛り沢山のためその全貌と討議とは5月に持ち越すこととした。第2テーマは最近改めて話題となっているといわれるフッサール現象学を中心に紹介が行なわれ、意識が確信にいたる過程の最も厳密な記述という点で政策決定に共通するのではと共感された。

### ●数理計画(関東)●

#### ●第24回

日時：昭和65年3月19日(土) 14:00~17:00 出席者：

32名 場所：統計数理研究所

テーマと講師：

1. 和田幸子 (東京工業大学・理学部・情報科学科)

「巡回セールスマン問題の緩和と下界の強化」

2. 山田 出 (早稲田大学・理工学研究科・工業経営)

「大規模2次元巡回セールスマン問題に対する効率的近似解法の提案」

3. 戴 陽 (筑波大学・社会工学研究科)

「A Path Following Algorithm for Stationary

Point Problem on Polyhedral Cone”

4. 中村卓也 (法政大学・工学研究科・電気工学専攻)

「MRP ロットサイジング問題」

5. 矢島俊弥 (慶応義塾大学・理工学研究科・管理工学)

「板取り問題の基礎的研究」

内容：3月の数理計画部会は昨年引き続き、関東近郊の関連大学の卒論・修論をもとにした「学生セッション」として開催し、上記の5件の発表と活発な質疑応答が行なわれ、部会メンバーとともに多くの学生が参加した。

なお、任期満了に伴い、4月より主査が森戸晋から古林隆 (法政大学) に変更となりました。幹事は土谷隆が留任し、4月以降も今までどおり統計数理研究所で開催いたします。ふるってご参加ください。

●経営管理システム (研究グループ)

●第1回

日時：昭和63年3月5日(土) 14:00~17:00 出席者：

9名 場所：東京都勤労福祉会館

テーマと講師：「経営・管理システムと人間行動」上田

亀之助 (上田イノベーション研究所)

「経営・管理」はきわめて広汎な分野にわたるものなので、その志向する分野・その場の生態・経営と管理のそれぞれの特徴・人を動かす人間行動等について、その基礎的な問題を考え、その裏づけとして『孟子』『孫子』ならびに本田宗一郎氏の名言のいくつかをとりあげて、理論と現実のかかわりあいを検討された。

●第2回

日時：昭和63年4月9日(土) 14:00~17:00 出席者：

7名 場所：中央区八丁堀 東京都勤労福祉会館

テーマ：「アジアの構図」

講師：井上喜代重 (アジア友の会)

世界の陸地はアジア大陸を中心として、そこから、ヨーロッパ・アフリカ・アラビア半島・インド等が突出しており、南米・北米・オーストラリアはそのちぎれてきた離島であると考えられる。日本はその中の照葉樹林文化・稲作文化圏に属する。日本の文化は其中でも特に多様性・柔軟性に富んだ将来性のある文化である。

学会記事

第6回理事会議題

1. 第5回理事会議事録の件
2. 委員会報告
  - 1) 庶務幹事会
  - 2) 研究普及委員会 昭和63年度シンポジウム・春季・秋季研究発表会経過報告
  - 3) 編集委員会
  - 4) 国際委員会
  - 5) 会員増強委員会
  - 6) 学術会議・FME S関係報告
3. 学会細則の一部改正
4. 著作権規程の制定
5. 入退会承認の件
6. 会友の選定
7. 第29回経営科学会(TIMS)国際会議開催の件
8. 昭和62年度フェロー推薦の件
9. 昭和62年度学会賞授賞候補推薦の件
10. 昭和62年度研究部会・グループ終了経過報告の件
11. 昭和62年度事業報告(案)及び収支見込の件
12. 昭和63年度役員候補者の件
13. 昭和63年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件
14. 重点領域申請の件

入会 (正会員)

秋月浩志 (日本電信電話), 大森正明 (榊東レシテムセンター), 金川明弘 (大阪府立大学), 後藤邦夫 (南山大学), 斎藤 環 (榊長銀経営研究所), 住田友文 (日本開発銀行), 竹村 哲 (星稜女子短大), 千葉勝征 (コンビ), 寺島逸郎 (大日本印刷), 渡辺慶和 (産業能率大学)

学生会員

大谷 浩 (上智大学), 小山内 純 (武蔵工業大学), 川西信行 (関西大学), 甲野勝巳 (京都工芸繊維大学), 千脇章広 (青山学院大学), 中段 満 (関西大学), 古川 敦 (東京大学), 矢部 憲一 (東京工業大学), 和田幸子 (東京工業大学), 韓 尚秀 (大阪大学)

移動 (学→正)

池田 隆政	豊橋技術科学大学	→榊東芝
久野 誉人	東京工業大学	→東京工業大学
道工 勇	筑波大学	→埼玉大学
中出 康一	京都大学	→名古屋工業大学
永持 仁	京都大学	→豊橋技術科学大学
平山 哲治	筑波大学	→電気通信大学
福村 直登	早稲田大学	→榊鉄道総合技術研究所
森田 浩	大阪大学	→大阪府立大学